

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

| | | | |
|------|--------------|----|----|
| 所属 | 文学部 | 身分 | 教授 |
| 氏名 | 森茂 岳雄 | | |
| NAME | MORIMO TAKEO | | |

1. 研究課題

(和文) 大学におけるグローバル体験学習のプログラム開発と評価
ー中央大学「グローバル・スタディーズ」を事例としてー

(英文) Program development and evaluation of global experiential learning in universities :
A case study of "Global Studies" in Chuo University

2. 研究期間

2019・2020・2021年度 ※2021年度は新型コロナウイルス感染症特例対応により1年間延長

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度)

(和文)

本研究は、日本の大学で実施されているグローバル体験学習のプログラムの検討を通して、そこで学生に身に付けさせたい資質・能力を明らかにするとともに、グローバル体験学習プログラムの評価の視点や基準を開発し、その研究成果をもとに本学で申請者が担当している「グローバル・スタディーズ」のプログラムの改善を行うことを目的としている。

森茂担当のグローバル・スタディーズでは、ハワイにおけるフィールドワークを通して日本人移民・日系人に関する認識を深めるとともに、各自が調査・体験したことをもとに、学校現場で活用できるグローバル教育の教材 (ex. 写真アルバム、絵本、紙芝居、絵地図、新聞、マンガ、カルタ等々) づくりを行うことを目標としている。

そこで本年度は、これまでのグローバル・スタディーズの5年にわたる実施経験や他大学の海外体験学習のプログラムの検討を通して、プログラム評価法の開発に当たった。具体的には、本プログラムのパフォーマンス課題である「教材づくり」のルーブリックの開発を行った。

これまでの実施を通して、プログラム終了後の学生の成長のためのフォローアップが十分行われていないことが課題として認識されたが、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、2019年度以降の本学におけるグローバル・スタディーズの実施の中止が決定されたため、この点を改善したプログラムの実施はできなかった。

(英文)

The purpose of this research is to develop the method for evaluation of global experiential learning programs, and to improve the "Global Studies" program that I am conducting at Chuo University. This year, we developed a program evaluation method based on five years of implementation experience of global studies and examination of overseas experiential learning programs at other universities. Specifically, we developed a rubric for "Making Teaching Materials," which is a performance task for this program.

Through the implementation of the program so far, it was recognized that there was not enough follow-up for the growth of students after the completion of the program. Due to the global spread of COVID-19, the improved program could not be implemented.